

調剤支援システムの一部更新及び
設定業務一式に係る仕様書

国立障害者リハビリテーションセンター

調剤支援システムの一部更新及び設定業務一式に係る仕様説明

1 調達物品の仕様

当センターが基準とする調達物品の仕様は、「調剤支援システムの一部更新及び設定業務一式」に係る仕様書（別添）のとおりとする。

仕様書（別添）の参考機種に示されているメーカー名、規格・型番等は参考のものであり、競争参加者等を拘束するものではないが、物品納入の際は仕様欄に示されている仕様と同等又はそれ以上の性能を有する物品を納入すること。

2 納入物品について

納入物品は、仕様書に基づき納入業者によって設置作業を行うこと。この際仕様書及び担当官の指示に従って、必要に応じて床面の保護や振動、音の軽減などの付随する作業についても実施すること。全ての作業完了後に品質検査等を行い正常な製品であることを確認し、かつ、当センターの検収を経た後に納入完了とする。

3 アフターケアについて

- (1) 納入業者は、納入後1年間は納入物品の瑕疵を原因とするトラブル等が発生した場合は、迅速かつ誠実に現状復旧等の作業に当たること。
- (2) 納入後1年以内の製造元及び納品に起因する故障に対する対応は、無償で行うこと。
- (3) また、各種サポートを迅速かつ的確に行うために、納入業者においては必要かつ十分なサポート体制を構築することが望ましいこと。

4 その他

- (1) 物品納入・設置に際し、当センター既存建物・設備等に損傷を与えた場合は、担当官の指示に従い速やかにこれを修復すること。
- (2) 設置作業に伴い発生したゴミ、残材等は必ず持ち帰り、作業終了後は清掃を行うこと。
- (3) 現在、当センター構内は様々な工事を行っているため、車両等駐車の際は、他工事の車両等の通行を妨げないよう担当官の指定した場所に駐車すること。
- (4) 現地を事前に確認したい場合は、会計課に申し出た上で、担当官の指示に従い現地確認を行うこと。

調剤支援システムの一部更新及び設定業務一式 仕様書

1 目的

当センター病院において、調剤業務を安定的に運用するためにシステムの一部更新を行うことを目的とする。

2 参考機種

(1) 調剤支援システム及びサーバー

- ① 調剤支援システム 1式
(株式会社トーショー)
- ② データベースエンジン 1式
(PSQL V12 SUMMIT 20-User 64bit)
- ③ サーバー 1式
(PRIMERGY TX1320 M3 (300GB×2, RAID1))
- ④ 保守延長パック (当日訪問修理) 5年間 1式
(PRIMERGY TX1330, TX1320シリーズ用 SV7X2202D)
- ⑤ Windows Server CAL 2016 Japanese MLP 5 Device CAL 4式

(2) 調剤受信システム用ハード機器

- ① 処方受信用端末 1台
(ESPRIMO D587/R Windows10 Professional)
- ② 端末5年間保守パック 1式
(SupportDeskパックLite (当日訪問修理))

(3) 薬袋印字プリンター

- ① 特大薬袋ラベルプリンター 1台
(MultiImpact 201HA PR-D201SE)

(4) その他ハード機器

- ① PC 2台用小型CPU自動切替器 1台
(USB&PS/2 コンボ対応)
- ② 調剤サーバー用無停電電源装置 1KVA 1台
(SMU-HA102)
- ③ LANケーブル、OAタップ、変換アダプター 他ハード備品 1式

3 調達物品の備えるべき性能・機能に関する条件

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等の要件は次に示すとおりであり、本仕様に定める各内容を満足させなければならない。

3-1	調剤支援システム
3-1-1	既存システムの環境設定を滞りなく行えること。
3-1-2	現状の各種システムハードウェアとの接続適合性があること。
3-2	調剤支援システム用サーバー
3-2-1	各制御装置に係わるファイルの保存管理を行う機能が有ること。
3-2-2	各装置間をLANで繋ぎシステムを構築すること。
3-2-3	既存の調剤支援システム、注射払出システム、サブシステム、全てのデータ及び情報変換のためのマスタを保管・管理ができること。
3-2-4	台数はサーバ1台構成とすること。
3-2-5	サーバはCPUがインテルXeon E3-1220v6(3GHz)相当以上、主記憶装置の容量は8GB以上を備えていること。
3-2-6	サーバは300GB以上の物理的容量を持つ磁気ディスク装置を2台内蔵し、RAID1以上で構成されていること。
3-2-7	ハードウェアコンポーネントを二重化することにより、万が一、片方のハードウェア本体にトラブルが発生しても連続運転が可能なこと。
3-2-8	サーバOSはWindows Server 2012 R2 日本語版 相当、あるいはWindows Server 2008 R2 日本語版 相当以上であること。
3-2-9	DVD-ROMドライブ（最大24倍速）を内蔵していること。
3-2-10	本装置は無停電電源装置（UPS）を有すること。
3-2-11	1000Base-T以上のインターフェースを1個有し、通信プロトコルはTCP/IPであること。
3-2-12	19インチ以上、解像度1280×1024以上の液晶カラーディスプレイ、日本語キー入力付きキーボードおよびマウスを有していること。
3-3	調剤受信システム
3-3-1	当センター病院の電子カルテシステムとの接続が可能で、通信端末を介し情報を得ること。
3-3-2	当センター病院の電子カルテシステムとのオンライン化において、情報伝達のためのソフトを含んでいること。
3-3-3	受信する情報は入院・外来処方オーダ、患者基本情報とすること。
3-3-4	画面上には受信件数（ID番号、患者名、診療科、処方区分等）を表示すること。
3-3-5	PCはCPUがインテル Celeron G3930(2.90GHz)相当以上、主記憶装置の容量は2GB以上を備えていること。
3-3-6	PCは500GB以上の物理容量を持つ磁気ディスク装置を内蔵すること。
3-3-7	台数は受信用端末1台構成とすること。
3-3-8	19インチ以上、解像度1280×1024以上の液晶カラーディスプレイ、日本語キー入力付きキーボードおよびマウスを有していること。

3-3-9	オペレーティングシステムに関してはWindows10 Professional 日本語版 相当以上、あるいはWindows7 Professional 日本語版 相当以上であること。
3-3-10	PCは1000Base-T以上のインターフェースを1個有し、通信プロトコルはTCP/IPであること。

4 その他

- (1) 設置・取付け・設定は、受注者にて行うこと。
- (2) 現行機器内部のデータを新機器へ移行すること。
- (3) 既存接続システム

① 調剤解析システム	1 式
② 薬袋発行システム	1 式
③ 注射受信システム	1 式
④ 注射解析払出システム	1 式
⑤ 注射帳票発行システム	1 式
⑥ 持参薬鑑別システム	1 式
⑦ 音声認識薬剤情報システム	1 式
⑧ 計数調剤支援システム	1 式
⑨ 薬袋発行プリンター R i - 6 II	1 式
⑩ お薬手帳ラベルプリンター	1 式
⑪ 注射箋発行プリンター	1 式
⑫ 注射ラベルプリンター	1 式
⑬ 全自動錠剤分包機 X a n a - 2 7 2 0 E U	1 式
⑭ 自動散薬分包機 i o - 9 0 9 0 E X	1 式
⑮ 散薬監査システム S W - K	1 式